

土岐郡

路つらぬき、旅人往來す、和名類聚抄に可兒と見え外の古書にもみな同じさまにかけり、○中高
三萬二千百二十八石八斗九升二合、九十六ヶ村古高帳には、三萬二千百四十石餘、三十、五ヶ村とし、新高帳には、百八ヶ村とす、〔三代實錄清和〕貞觀五年九月十三日壬寅、美濃國可兒郡人左史生從八位上長谷部貞宗貫附左京職、

〔新撰美濃志美濃二十一郡〕土岐郡は、加茂郡の南にありて、東は惠奈郡に至り、南は參河國賀茂郡、尾張國春日井郡にさかひ、西北は可兒郡を限り、北は木曾川を隔て、加茂郡に隣れり、北の方にて東山道の驛路つらぬき、往來の旅人たゆる事なし、和名類聚抄に土岐と見え、其外にも多くしか書り、○中高は一萬九千六百二十五石五斗四升一合、五十六ヶ村古高帳には、一萬九千四百一、石餘、三十二ヶ村とし、新高張には、六十四、ヶ村とす、

〔三代實錄清和〕貞觀四年五月廿三日庚寅、美濃國土岐惠奈兩郡百姓弊亡特甚給復一年、

〔三代實錄清和二十〕貞觀十三年六月八日癸未復美濃國土岐惠奈兩郡百姓調庸一年、

〔夫木和歌抄郡三十二〕見の、國ときのこほりにて

重之

たび人のわびしき時はくさ枕雪ふるときのこほりなりけり

〔新撰美濃志美濃廿一郡〕惠奈郡は、加茂郡の辰巳の方にありて、當國東のはてなる地なり、東は信濃國筑摩郡、伊那郡をへだつに至り、南は參河國設樂郡賀茂郡に隣り、西は土岐・加茂の二郡に亘り、北は飛驒國益田郡、信濃國筑摩郡御嶽を堺とす、東山道の驛路つらぬきて、旅店賑やかなり、むかしは信濃の木曾の地、當郡に屬たりしよし、くはしく前にゑるす、合せ見るべし、和名類聚抄に惠奈とかき、其外の古記どもにもみな同じさまにかき、外の文字を用ひず、奈を那にかへてかけ
るも、たまさかには見えたり、○中高は三萬四千三百七石一斗五升、七十九ヶ村古高帳には、三千三百十石餘、七十五ヶ村とし、新高帳には、八十五ヶ村とす、

惠奈郡